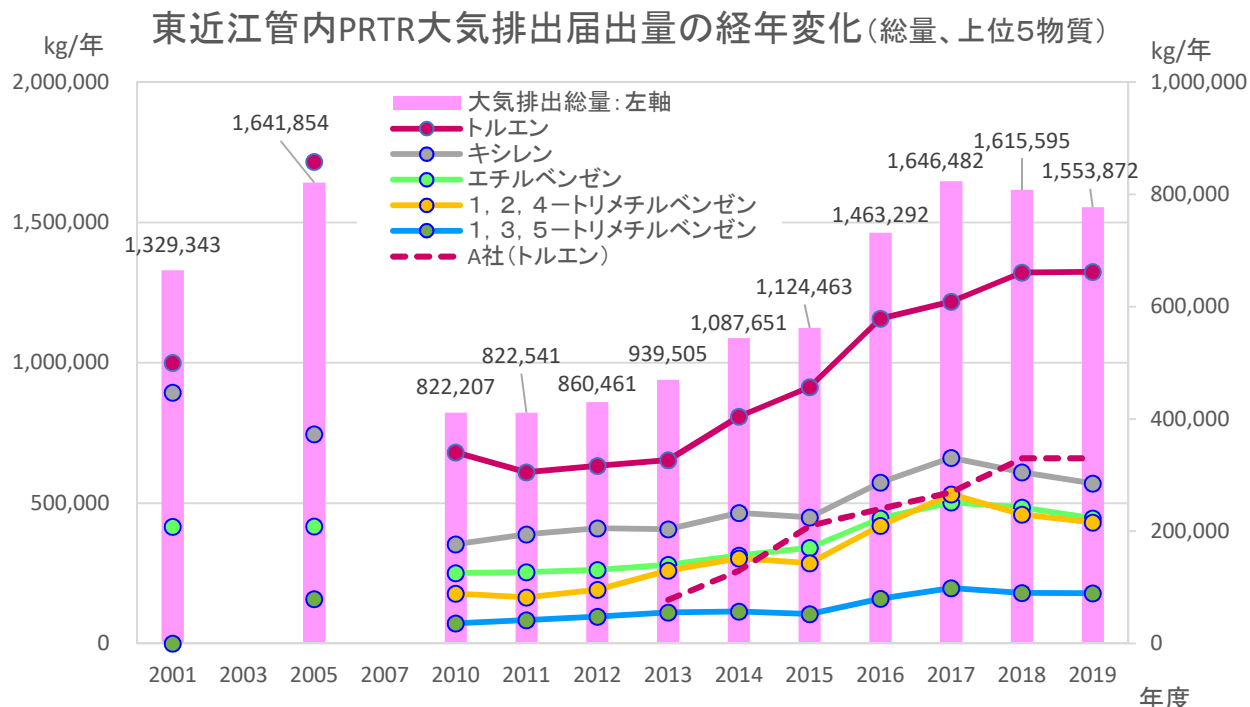
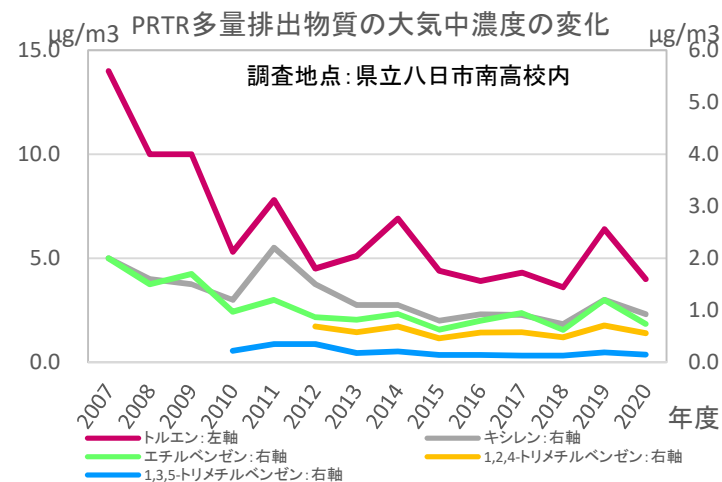


# 5. 化学物質 (PRTR届出: 大気排出状況)



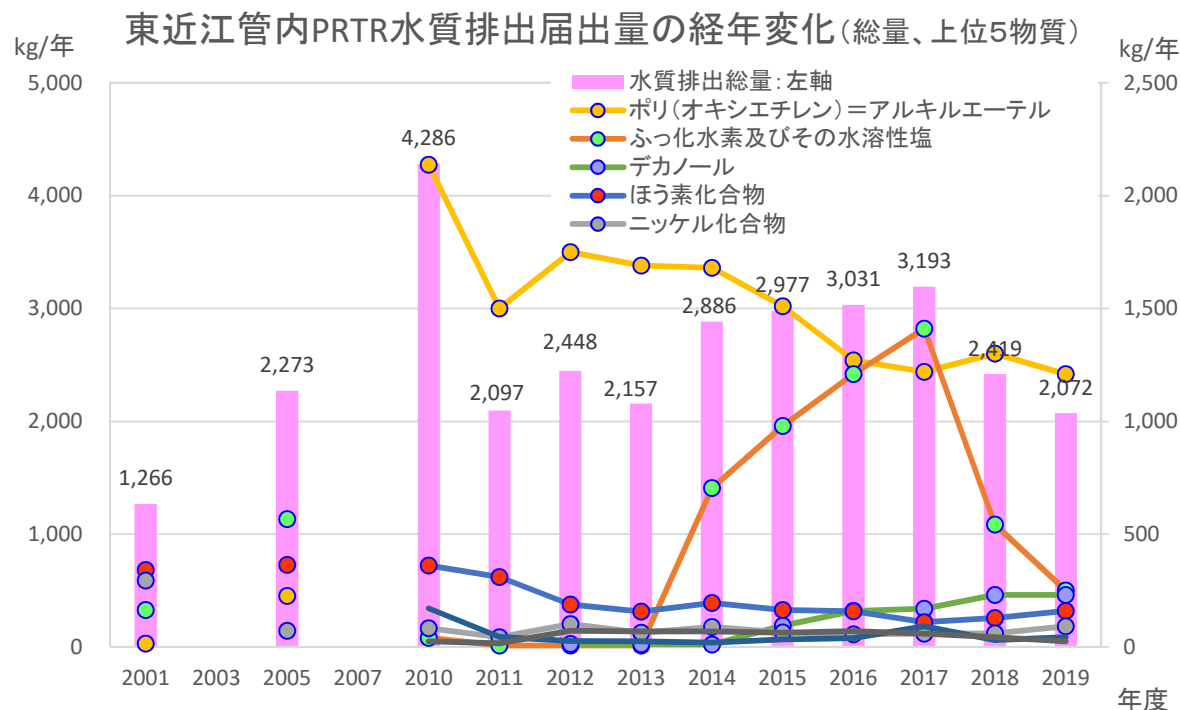
※PRTR公表データより、滋賀県東近江環境事務所集計

- 届出されている化学物質の大気への排出総量は、2011年度以降に増加傾向。
- 特に大きな増加傾向を示すトルエンでは、2013年度以降に届出されているA社の排出増加が大きく影響している。
- なお、1,2,4-トリメチルベンゼンは、2009年度以前は届出対象外であった。
- 大気中の濃度は、概ね経年的に減少傾向だが、2013年度以降に着目すると横ばいとなっている。



※滋賀県琵琶湖環境科学研究センター調べ

## 5. 化学物質 (PRTR届出: 公共水域排出状況)

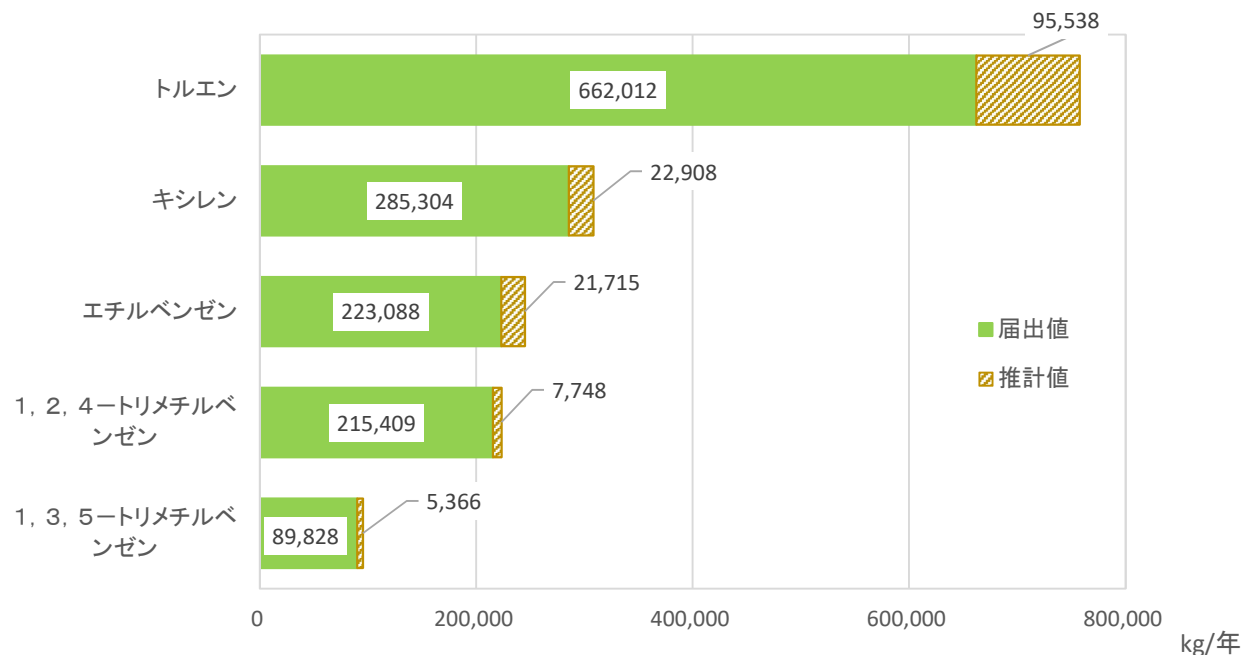


※PRTR公表データより、滋賀県東近江環境事務所集計

- 届出されている化学物質の水質への排出総量は、2011年度以降は、2,000～3,000超kg/年で推移。
- ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテルは、2019年度には2事業所から排出を届けられている状況であり、特定の事業場からの排出量を表している状況。
- ふっ化水素及びその水溶性塩は、2014～2018年度にかけて、1事業所からの排出量の増加減少に応じて、管内の排出量が増減していた。
- 2010年度から追加されたデカノールは、経年的に増加傾向にある。

## 5. 化学物質 (PRTR推計を含む排出上位5物質:大気)

東近江管内のPRTR大気排出上位5物質(2019年度)

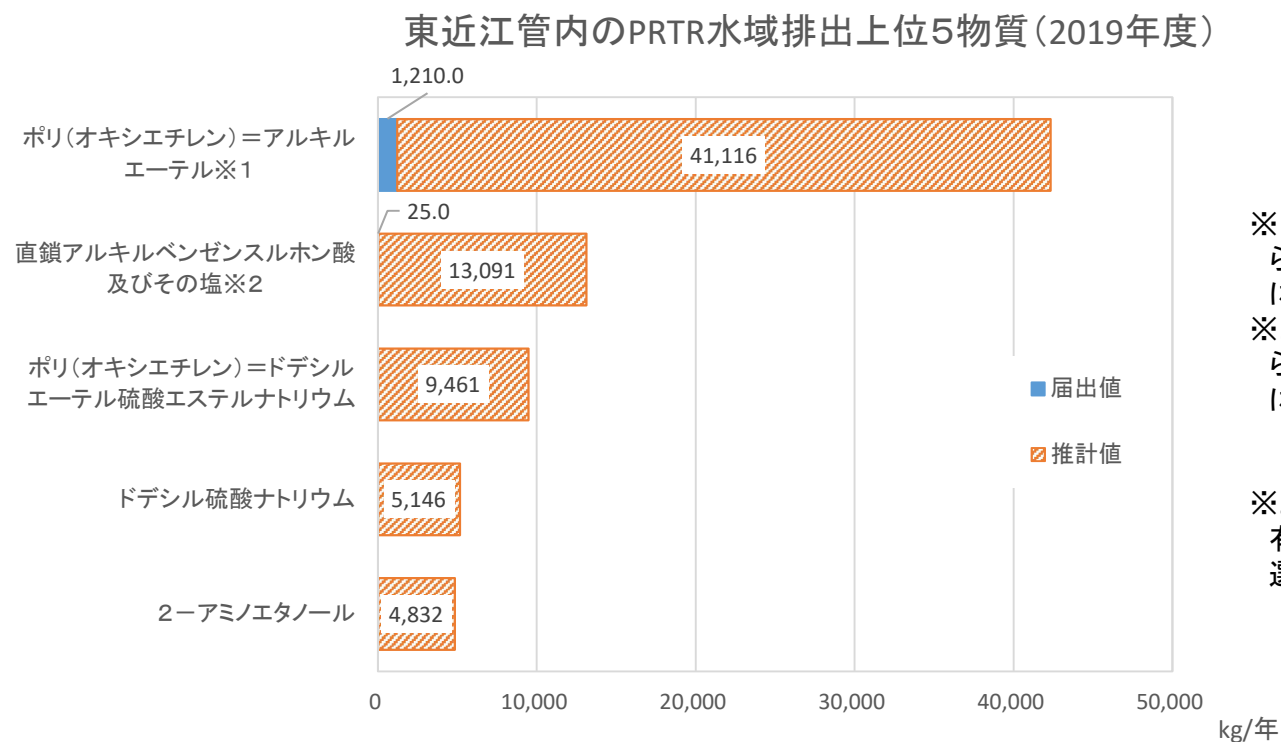


※PRTR公表データより、滋賀県東近江環境事務所推計

- 大気へ排出される化学物質の上位5物質は、いずれも事業所から届出された排出量の上位5物質と同じであった。
- これら5物質の用途は、他の化学物質の原料もしくは溶剤である。
- 大気への化学物質の排出抑制は、大規模に化学物質を使用する事業所の取組が重要であると考えられる。

※推計値は、国が公表する滋賀県域で推計される届出事業所からの排出以外の排出量を、入手可能な統計データを用いて甲賀管内相当分を算出したもの。  
このため、届出値とは精度が異なることに留意が必要。

## 5. 化学物質 (PRTR推計を含む排出上位5物質: 水域)



※1: アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。

※2: アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。

※上位5物質は、水生生物に対する有害性評価のみで、対象物質に選定されている。

※PRTR公表データより、滋賀県東近江環境事務所推計

- 水域に排出される化学物質の上位5物質は、いずれも事業所からの届出値よりも推計値が大きい特徴がある。
- これら5物質の用途は、家庭でも用いられる洗剤等に用いられている。
- 水域に排出される化学物質は、様々な場面での洗剤の使用方法が重要と考えられる。

※推計値は、国が公表する滋賀県域で推計される届出事業所からの排出以外の排出量を、入手可能な統計データを用いて東近江管内相当分を算出したもの。  
このため、届出地とは精度が異なることに留意が必要。